

2020年度 大学院生による授業評価報告書

川崎医療福祉大学
FD・SD委員会

大学院生による授業評価は、学部の学期別・科目ごとに評価する方法と異なり、年度末に専攻のカリキュラム全体に対する評価として実施している。今年度よりオンラインにより実施した。

1. 実施状況

1-1 実施日

回答期限 2021年3月20日(土)

回答先 教務課

1-2 実施方法

これまでと同様に、専攻ごとにカリキュラム全体に対する評価として実施した。
巻末の資料に示す質問項目をオンラインで調査した。

2. 実施結果の分析(表)

2-1 回答者数及び回収率

修士課程については在籍者92名中64名から回答を得て、回収率は69.6%(昨年度69.7%)、博士後期課程については在籍者32名中16名から回答を得て、回収率は50.0%(昨年度65.7%)であった。

2-2 教育の満足度(Q1)

以下、各問に対する回答は5:そう思う、4:やや思う、3:どちらでもない、2:やや思わない、1:そう思わない、の5段階評価であった。修士課程は平均4.5(昨年度4.5)で、医療福祉学専攻(4.4)、臨床心理学専攻(4.4)、保健看護学専攻(3.8)、医療情報学専攻(4.3)と4.5を下回ったが、これ以外の専攻は4.5以上の高評価であった。3.0未満の低評価の専攻はなかった。博士後期課程は平均4.3(昨年度4.5)で昨年度より0.2ポイント低下した。

2-3 カリキュラムの体系性(Q2)

修士課程については平均4.3(昨年度4.4)で、保健看護学専攻(3.5)、医療情報学専攻(3.7)は他の専攻と比較する0.5ポイント以上の低い値を示した。それ以外の専攻は4.5以上の高評価であった。3.0未満の低評価であった専攻はなかった。博士後期課程は平均4.3(昨年度4.3)であった。

2-4 研究の質(Q3)

修士課程については平均4.3(昨年度4.5)で、保健看護学専攻(3.8)、臨床心理学専攻(4.2)、医療情報学専攻(3.7)と平均値より低い値を示したが、それ以外の専攻は4.5以上の高い評価であった。3.0未満の低評価であった専攻はなかった。博士後期

課程では平均 4.3（昨年度 4.4）であった。

2-5 指導方法及び教員間の連携（Q4）

修士課程では平均 3.9（昨年度 4.5）で、昨年と比較すると 0.6 ポイントのマイナスであった。特に、医療福祉学専攻(3.1)、保健看護学専攻(3.4)、医療福祉経営学専攻(3.3)が低い値を示した。それ以外の専攻は概ね高評価であった。博士後期課程は平均 4.4（昨年度 4.4）で昨年と同様であった。

2-6 他専攻の教員及び大学院生との対話・交流（Q5）

修士課程では、平均 3.4（昨年度 3.5）で、4.5 以上の高評価であった専攻は医療福祉デザイン学専攻(4.5)のみで、3.5 未満の低評価の専攻は、医療福祉学専攻(3.1)、臨床心理学専攻(3.2)、保健看護学専攻(3.1)、リハビリテーション学専攻(3.0)、医療情報学専攻(3.0)であった。博士課程では平均 2.9（昨年度 3.8）と低く、特に臨床心理学専攻では 1.0 であった。

2-7 研究指導（Q6）

修士課程では平均 4.5（昨年度 4.4）であった。すべての専攻で 4.0 を上回り、高評価となった。博士後期課程では平均 4.8（昨年度 4.7）と高い評価であった。

2-8 社会（臨床現場）との連携（Q7）

修士課程では平均 4.1（昨年度 4.0）であった。4.5 以上の高評価であった専攻は感覚矯正学専攻(4.7)、臨床栄養学専攻(4.5)、医療福祉経営学専攻(4.7)、医療秘書学専攻(4.5)で、3.0 未満の専攻はなかった。博士後期課程では平均 3.7（昨年度 4.0）であった。

2-9 成果の公開（Q8）

修士課程では平均 3.9（昨年度 4.2）、4.5 以上の高評価であった専攻は感覚矯正学専攻(4.7)、リハビリテーション学専攻(5.0)、臨床工学専攻(5.0)で、保健看護学専攻(3.1)と医療福祉デザイン学専攻(2.5)は低値を示した。博士後期課程では平均 4.3（昨年度 4.7）であった。

2-10 設備・施設（Q9）

修士課程では平均 3.9（昨年度 4.3）、4.5 以上の高評価であった専攻は感覚矯正学専攻(4.7)、リハビリテーション学専攻(5.0)、臨床工学専攻(4.5)で、3.0 未満の低評価であった専攻は医療情報学専攻(2.7)であった。博士後期課程では平均 3.8（昨年度 4.3）であった。

2-11 学習意欲（Q10）

修士課程では平均 4.1（昨年度 4.3）、4.5 以上の高評価であった専攻は感覚矯正学専攻(4.7)、臨床栄養学専攻(4.7)、リハビリテーション学専攻(5.0)、臨床工学専攻(5.0)、医療福祉経営学専攻(4.7) で、3.0 未満の低評価であった専攻はなかった。博士後期課程では平均 4.4（昨年度 4.7）であった。

3. 自由記述

自由記述をまとめたものについては別途保管する。

4. まとめ

総合的な満足度は修士課程 4.5 博士後期課程 4.3 で、修士課程は昨年度と同程度の値となり、博士後期課程は前年よりやや低い評価となった。過去 12 年間の推移は以下のとおりである。

特に、修士課程においては、「指導方法及び教員間の連携」はマイナス 0.6 ポイント、「設備・施設」でマイナス 0.4 ポイントと昨年度と比較すると大幅な低い評価となった。自由表記にも多くの指摘があるように、新型コロナウイルス感染症対策としての遠隔授業ならびに研究活動の制限によって、教員との十分な討論や大学施設の有効利用ができなかったことに起因するものと考えられた。

過去 12 年間の全体的な満足度の推移



課程	専攻	学生数	回答数	回収率	Q1:専攻の教育		Q2:カリキュラム		Q3:研究の質		Q4:指導方法と連携		Q5:対話・交流		Q6:研究指導		Q7:社会との連携		Q8:成果の公開		Q9:設備・施設・図書		Q10:学習・研究意欲	
					n	AV	n	AV	n	AV	n	AV	n	AV	n	AV	n	AV	n	AV	n	AV	n	AV
修士	11:福祉	13	10	76.9%	10	4.4	10	4.3	10	4.5	10	3.1	10	3.1	10	4.5	10	4.0	10	3.8	10	3.9	10	4.2
	12:心理	23	19	82.6%	19	4.4	19	4.3	19	4.2	19	4.0	19	3.2	19	4.2	19	4.4	19	4.0	19	4.2	19	3.9
	13:看護	15	8	53.3%	8	3.8	8	3.5	8	3.8	8	3.4	8	3.1	8	4.4	8	3.3	8	3.1	8	3.3	8	3.3
	21:感覚	6	3	50.0%	3	4.7	3	4.7	3	4.3	3	5.0	3	4.3	3	4.7	3	4.7	3	4.7	3	4.7	3	4.7
	22:健体	7	4	57.1%	4	4.5	4	4.5	4	4.5	4	3.8	4	4.3	4	4.5	4	3.8	4	3.5	4	3.8	4	4.3
	23:栄養	6	6	100%	6	4.8	6	4.7	6	4.7	6	4.7	6	3.7	6	5.0	6	4.5	6	4.3	6	4.3	6	4.7
	24:リハ	3	2	66.7%	2	5.0	2	5.0	2	5.0	2	5.0	2	3.0	2	5.0	2	4.0	2	5.0	2	5.0	2	5.0
	26:臨工	3	2	66.7%	2	5.0	2	5.0	2	5.0	2	5.0	2	4.0	2	5.0	2	4.0	2	5.0	2	4.5	2	5.0
	31:経営	7	3	42.9%	3	5.0	3	5.0	3	5.0	3	3.3	3	3.7	3	5.0	3	4.7	3	4.3	3	4.0	3	4.7
	32:秘書	3	2	66.7%	2	5.0	2	4.5	2	5.0	2	5.0	2	4.0	2	5.0	2	4.5	2	4.0	2	3.0	2	4.0
	33:デザ	2	2	100%	2	4.5	2	4.5	2	4.5	2	3.5	2	4.5	2	4.0	2	3.5	2	2.5	2	4.0	2	4.0
	34:情報	4	3	75.0%	3	4.3	3	3.7	3	3.7	3	4.0	3	3.0	3	4.7	3	3.0	3	4.0	3	2.7	3	4.0
	合計	92	64	69.6%	64	4.5	64	4.3	64	4.3	64	3.9	64	3.4	64	4.5	64	4.1	64	3.9	64	3.9	64	4.1

博士後期	11:福祉	2	1	50.0%	1	5.0	1	5.0	1	5.0	1	5.0	1	2.0	1	5.0	1	3.0	1	5.0	1	3.0	1	5.0
	12:心理	4	1	25.0%	1	3.0	1	3.0	1	3.0	1	2.0	1	1.0	1	4.0	1	4.0	1	4.0	1	3.0	1	4.0
	13:看護	3	3	100%	3	3.7	3	3.7	3	4.0	3	5.0	3	2.7	3	5.0	3	3.0	3	3.3	3	4.3	3	4.3
	21:感覚	8	5	62.5%	5	4.2	5	4.2	5	4.0	5	4.2	5	2.0	5	4.6	5	3.4	5	4.0	5	3.4	5	4.2
	24:リハ	5	3	60.0%	3	5.0	3	5.0	3	5.0	3	5.0	3	5.0	3	5.0	3	4.7	3	5.0	3	4.7	3	5.0
	25:健康	7	0	0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	26:臨工	1	1	100%	1	3.0	1	3.0	1	3.0	1	3.0	1	3.0	1	4.0	1	3.0	1	4.0	1	3.0	1	4.0
	34:情報	2	2	100%	2	5.0	2	5.0	2	5.0	2	5.0	2	4.0	2	5.0	2	4.5	2	5.0	2	3.5	2	4.5
	合計	32	16	50.0%	16	4.3	16	4.3	16	4.3	16	4.4	16	2.9	16	4.8	16	3.7	16	4.3	16	3.8	16	4.4

回答数:n、平均値(5段階):AV

【表】

課程
修士

専攻	Q11:遠隔授業の有無		Q12:遠隔授業の環境					Q13:理解		Q14:コミュニケーション		Q15:遠隔の問題点				
	2	1.0	5	4	3	2	1	n	AV	n	AV	5	4	3	2	1
11:福祉	9	1	2	2	0	5	1	9	4.6	9	4.9	2	3	1	3	1
12:心理	18	1	6	5	2	8	3	18	4.7	18	4.8	8	5	1	9	0
13:看護	7	1	1	1	0	1	1	7	5.0	7	5.0	1	4	0	5	0
21:感覚	2	1	0	0	0	2	0	7	4.7	2	4.5	2	0	0	0	0
22:健体	4	0	0	1	0	1	0	4	4.0	4	5.0	4	0	0	0	0
23:栄養	4	2	1	0	0	3	0	4	5.0	4	5.0	4	0	0	0	0
24:リハ	2	0	1	1	0	1	0	2	4.0	2	5.0	2	0	0	0	0
26:臨工	1	1	0	0	0	1	0	1	5.0	1	5.0	0	1	0	0	0
31:経営	3	0	1	1	0	1	1	3	3.0	3	4.3	1	2	1	2	0
32:秘書	2	0	0	0	0	2	0	2	3.0	2	3.0	1	0	0	1	0
33:デザ	2	0	0	1	0	1	0	2	4.0	2	5.0	1	1	0	0	0
34:情報	3	0	0	0	0	3	0	3	4.3	3	4.3	2	0	0	1	0
合計	57	7	12	12	2	29	6	62	4.5	57	4.8	28	16	3	21	1

博士

11:福祉	1	0	0	0	1	0	0	1	5.0	1	5.0	0	0	0	1	0
12:心理	1	0	0	0	0	1	0	1	3.0	1	5.0	0	0	0	0	1
13:看護	3	0	0	0	0	3	0	3	3.0	3	3.7	2	1	0	0	0
21:感覚	5	0	2	2	0	3	0	5	4.2	5	3.8	4	1	1	1	0
24:リハ	1	2	0	0	0	1	0	1	5.0	1	5.0	1	0	0	0	0
25:健康	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26:臨工	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
34:情報	2	0	0	0	0	2	0	2	4.0	2	4.0	2	0	0	0	0
合計	13	3	2	2	1	10	0	13	3.9	13	4.1	9	2	1	2	1

2020年度 大学院生による授業評価アンケート

川崎医療福祉大学 FD・SD委員会

【所属する課程に ○ をしてください。】

1：修士課程 2：博士後期課程

【所属する専攻に ○ をしてください。】

11：医療福祉学専攻	12：臨床心理学専攻	13：保健看護学専攻
21：感覚矯正学専攻	22：健康体育学専攻	23：臨床栄養学専攻
24：リハビリテーション学専攻	25：健康科学専攻	26：臨床工学専攻
31：医療福祉経営学専攻	32：医療秘書学専攻	33：医療福祉デザイン学専攻
34：医療情報学専攻		

【専攻の教育全体について、適当と思われるものに ○ をしてください。】

- Q1 専攻の教育は全体として満足できるものでしたか。
5：そう思う 4：やや思う 3：どちらでもない 2：あまり思わない 1：そう思わない
- Q2 カリキュラムは体系的でしたか。
5：そう思う 4：やや思う 3：どちらでもない 2：あまり思わない 1：そう思わない
- Q3 専攻で行われている研究の質は満足できるものでしたか。
5：そう思う 4：やや思う 3：どちらでもない 2：あまり思わない 1：そう思わない
- Q4 専攻の教員の指導方法及び教員間の連携は満足できるものでしたか。
5：そう思う 4：やや思う 3：どちらでもない 2：あまり思わない 1：そう思わない
- Q5 他専攻の教員や大学院生との対話や交流は満足できるものでしたか。
5：そう思う 4：やや思う 3：どちらでもない 2：あまり思わない 1：そう思わない
- Q6 指導教員の研究指導は満足できるものでしたか。
5：そう思う 4：やや思う 3：どちらでもない 2：あまり思わない 1：そう思わない
- Q7 社会(臨床現場)との連携は満足できるものでしたか。
5：そう思う 4：やや思う 3：どちらでもない 2：あまり思わない 1：そう思わない
- Q8 研究成果を公開する機会は十分に多かったですか。
5：そう思う 4：やや思う 3：どちらでもない 2：あまり思わない 1：そう思わない
- Q9 実験・研究・実習の設備・施設及び図書は満足できるものでしたか。
5：そう思う 4：やや思う 3：どちらでもない 2：あまり思わない 1：そう思わない
- Q10 あなたの学修・研究に対する意欲は十分に高かったですか。
5：そう思う 4：やや思う 3：どちらでもない 2：あまり思わない 1：そう思わない
- Q11 遠隔での授業はありましたか。
2：あった 1：なかった
- Q12 自宅で遠隔授業を受講する環境はどうでしたか。(複数回答可)
5：講義資料を印刷するプリンターがなかった 4：通信の容量に制限があった 3：パソコン、タブレット端末が無かった 2：特に問題はなかった 1：その他()
- Q13 遠隔授業形式と対面授業形式のどちらが理解しやすいと感じましたか。
3：対面授業の方が理解しやすいと感じた 2：遠隔授業の方が理解しやすいと感じた 1：どちらも変わらない
- Q14 遠隔授業形式と対面授業形式のどちらが教員とコミュニケーションを取りやすいと感じましたか。
3：対面授業の方が理解しやすいと感じた 2：遠隔授業の方が理解しやすいと感じた 1：どちらも変わらない
- Q15 遠隔授業を受講するに際し問題があった場合、どんな問題がありましたか。(複数回答可)
5：問題なかった 4：資料の提示 3：課題の提出 2：配信映像や音声 1：その他()

【遠隔授業について、何かご意見があればご自由にお書きください。】

【大学院の教育について、何かご意見があればご自由にお書きください。】

ご協力、誠にありがとうございました。

提出期限：2021年2月16日(火)17時00分